ガンズ・アンド・シッスル

第4話

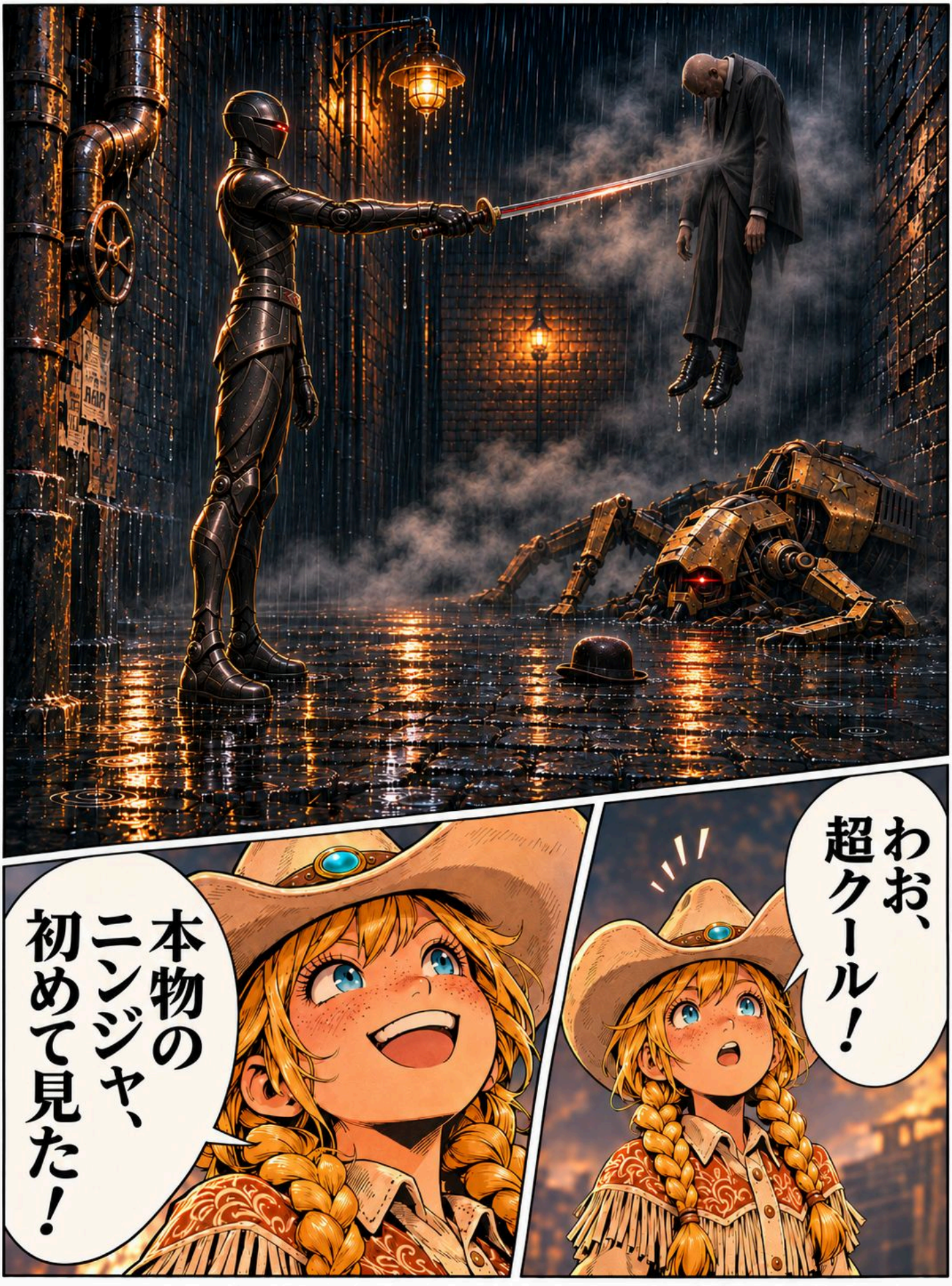
犬たちと横になれば、
ノミとともに目を覚ます

サンドクリークの
裏通りに、
男の悲鳴が響いた。

ぎゃあああッ



リベルタは足を止め、
声のした路地を覗いた。

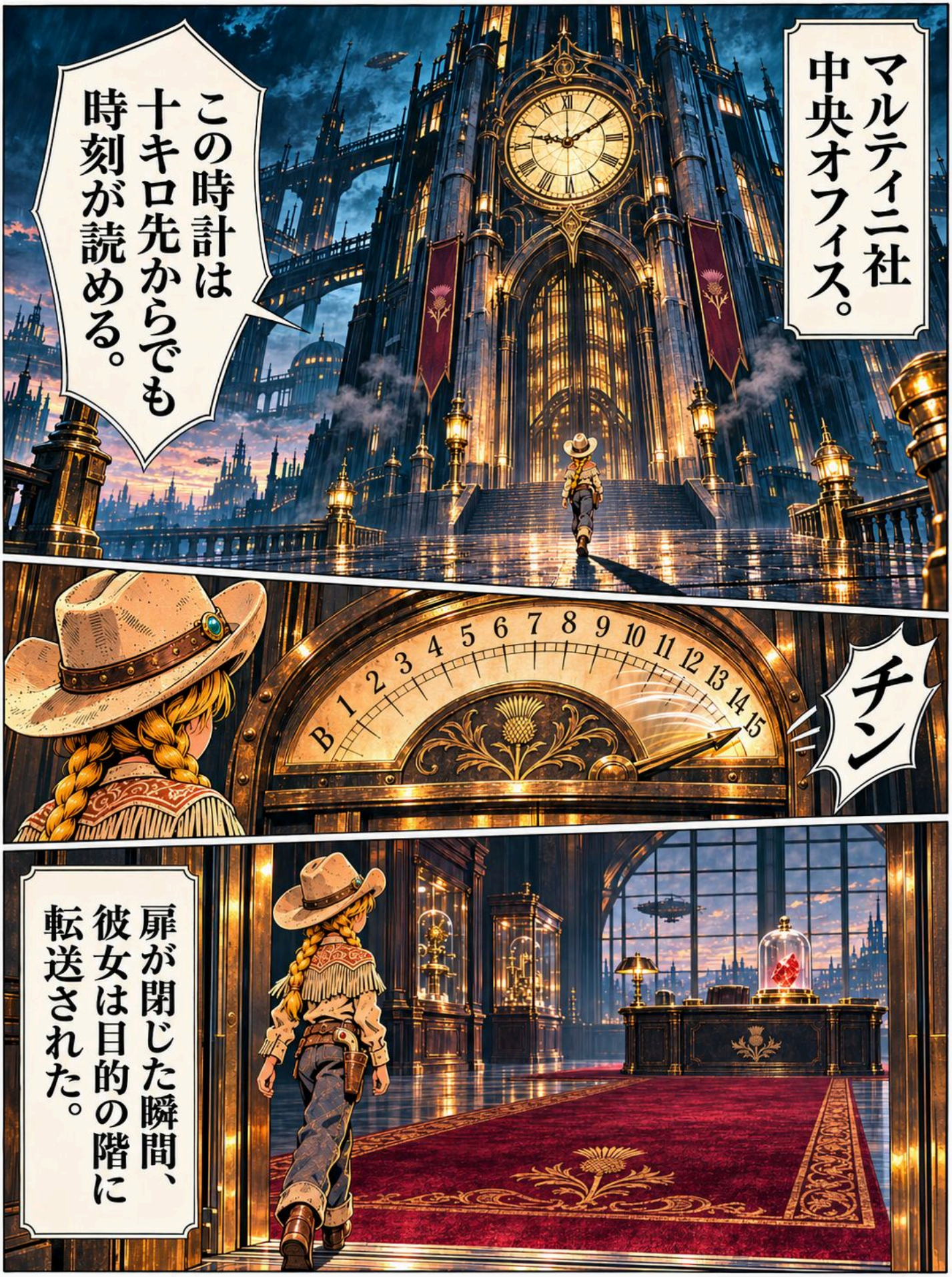

わお、超クール！
本物のニンジャ、初めて見た！

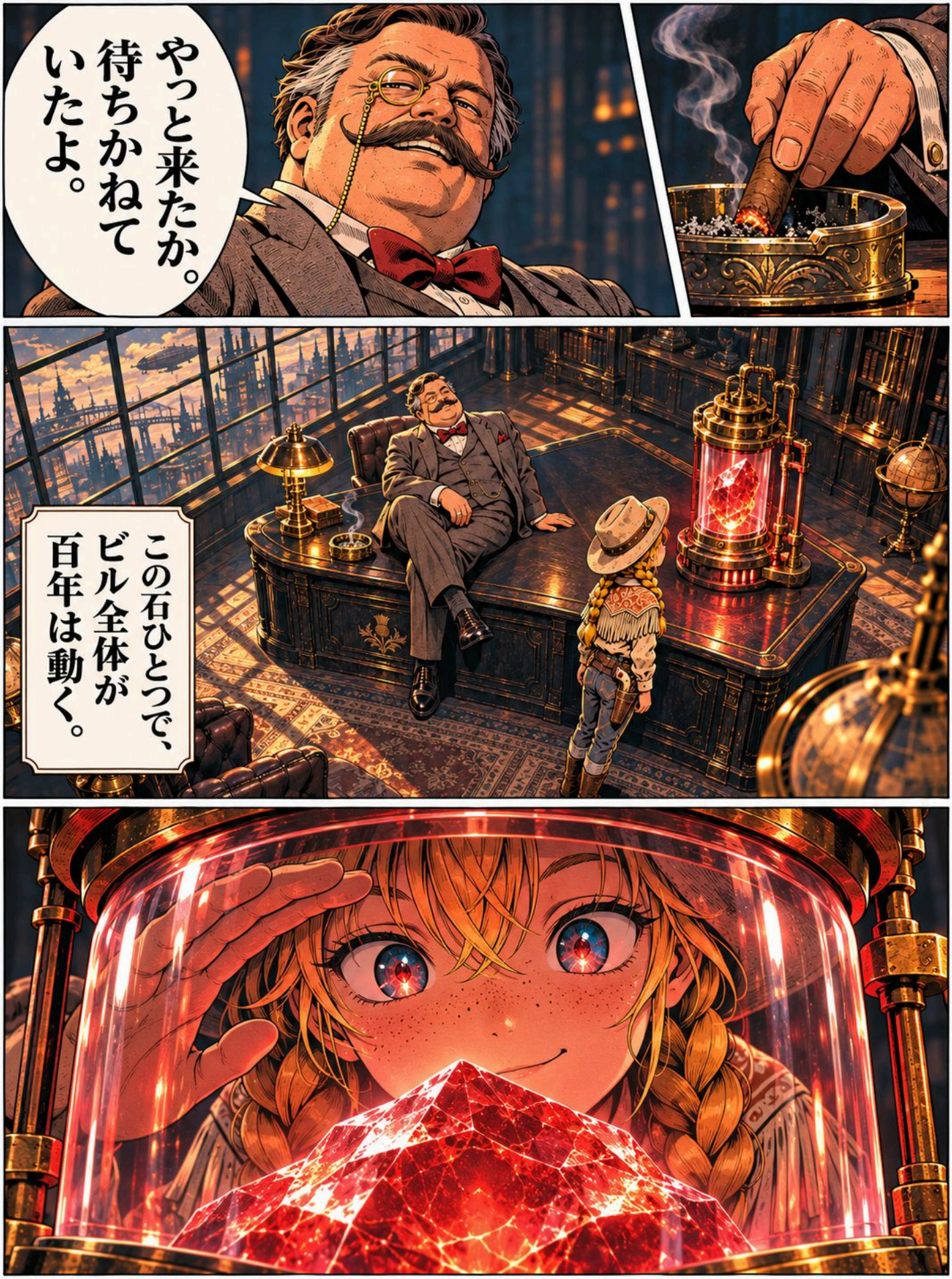

さぁ、
あいつの
出方次第！
タタラ社の
高級品ダ。
例の殺人鬼で
間違イない
どうスんダ？
ここデヤる
のか？
マルティニの
者ではないな？
ワタシの
邪魔をするな
ZEROは
男の頭皮を
切り開いた。
なにしてんの、
あれ……
社員の
頭部皮下には
ライン端末が
ある。
あれを奪ってる
んじゃない力？


もう一度だけ言う。
ワタシの邪魔を
するな、カウガール
ねぇ、
あんた
名前は？
カウガールに
名を聞かれるのは
初めてだ
ワタシは
ZERO……
ZERO-NEMOだ


シュウッ


すっごーい！
煙幕！
煙幕だよ！
違うンじゃ
ないカナ……


マルティニ社
中央オフィス。
この時計は
十キロ先からでも
時刻が読める。
チン
扉が閉じた瞬間、
彼女は目的の階に
転送された。


やっと来たか。
待ちかねていたよ。
この石ひとつで、
ビル全体が
百年は動く。


先のシェイズ戦争では、君のお父上のドレッドホーク君と共に戦ったよ
彼は本物の英雄だ
あたしもパパと一緒に居たんだけど
おおぅ……それじゃあ私たちは戦友だ。素晴らしい！


確か
お宝探しって
聞いたけど
そう。
君には
アナグマに
なって
もらう
は？
アナグマ？
ふむ、
気にしない
でくれ
五十六時間前、
信憑性の高い
噂を耳にした


郊外の先住民の遺跡に、これが隠されているらしい
……それ何？
我々にとっては重要なものだ。詮索はなしだよ